

2 Artist File

Momoko Mizutani,
Piano

プロフィール



水谷 桃子

(みずたに ももこ)

●ジャンル

ピアノ

●所属マネジメント

MIYAZAWA & Co.

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティ W22 階

TEL : 03-4360-5508

E-mail : hirabayashi@miy-com.co.jp

■担当マネージャー

平林 直昭

●アーティスト在住地

東京都文京区

●アーティスト出身地

兵庫県神戸市

神戸市生まれ。

東京藝術大学を経て、東京藝術大学大学院修士課程修了。現在、昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミー在籍。2006年第11回浜松国際ピアノアカデミーコンクール第4位。

2007年第5回東京音楽コンクール第2位。

2008年第32回ピティナピアノコンペティション全国決勝大会特級準金賞。

2009年第13回松方ホール音楽賞受賞。

2012年ニューヨーク・ドロシーマッケンジーコンクール優勝。

2011年度よりヤマハ音楽奨学生、2013年度青山財団奨学生、2015年宗次エンジェル基金奨学生、2021・2022年伸和コントロールズ奨学生。

15歳の時に中村絃子氏の推薦により水戸にて初めてのリサイタルを行う。

これまでに小林研一郎、広上淳一、梅田俊明、山下一史、キンポー・イシイ・エトウ、現田茂夫、沼尻竜典、角田鋼亮、ケン・シェ、岩村力、ダグラス・ボストックの各氏指揮、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、東京ニューシティー管弦楽団、大阪交響楽団等と共演。

2013年ジェローム・ローズ氏の招きでIKIF音楽祭若手アーティストリサイタルシリーズにてニューヨークリサイタルデビュー。

これまでにクラウディオ・ソアレス、迫昭嘉、故中村絃子、江口文子の各氏に師事。

自己アピール

私は14歳の時に故中村紘子先生との出会いがあり、人生の約半分を演奏活動に従事してきました。

十代半ばから勿体ないような一流のオーケストラ、偉大な指揮者の皆様方と共演させて頂き、その時は恐いもの知らずでしたが、大人になった今、思い返すたびに悪い汗をかいています。

まるで音楽バカのような少女時代を過ごし、お定まりの芸術大学へ進学し、本当に平凡な普通のピアニストとして生活してきましたが、世間の平均よりほんの少し早めに結婚、出産を経験し、又、そのためにピアノから離れた時期を過ごした結果、音楽への欲望を掻き立てられたと言いますか、演奏する事を渴望し、かえって音の世界が深まったように感じています。

そうなるも音楽に対する畏敬の念が増し、かつては考えられなかったほど本番への怖さと喜びを覚え、より丁寧に心と体の準備をするように

なりました。

かつて中村紘子先生が「本番に大きいも小さいもないのよ」と仰ったこと、「楽しんで弾こうと思っちゃダメ！」と仰ったこと等がピアノに向かうたびに甦る日々です。

ピアノと距離を置いていた時期には、これからはゆるやかに音楽愛好家として生きていこう、と思っていたのも事実で、だからこそ聴衆の皆様様の立場やお気持ちも理解できるようになってきた、と自負しています。

本格的な演奏技巧を維持しながら、決して肩の凝らないインパクトのあるコンサートやアウトリーチを安定的に提供すべく真摯に取り組んでいきたいと思っています。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

本事業では聴き手の年齢や地域性が予め特定されることが多く、事前の準備によって求められているものを想定しやすいのでは、と思います。

例えば小学校低学年向けのアウトリーチならばあまり長くない曲、TVのコマーシャル等で使用されている聞き覚えのある曲を中心に、声や手拍子、足拍子等体を動かす要素を入れて参加できる形を考えています。

高学年になれば、その地域や日本全体の歴史を絡めて印象的な出来事と同時期にヨーロッパで作られた曲等、少し具体性をもたせた曲選びをして興味をもって受け入れてもらえるよう工夫したいと思っています。

音楽への入口を低く広くすることが役目だと心得ていますので、決して一方的にならず肩肘張らずに取り組みたいと思っています。

又、コンサートの機会を頂けました折には、ポピュラーな選曲の中に

も本格的なクラシックの醍醐味を味わってもらえるよう経験とレパートリーを駆使して子供から大人まで、クラシック初心者から専門家まで聴き応えのある演奏会となるよう努力を惜しまない事をお約束します。

小さな子供を育てている関係上、私自身幼児期や学童期のクラシック音楽への導入に頭を悩ませる事もしばしばです。

それは必ずしも学校教育や習い事だけではカバーできない、とも感じています。

私を通じての体験が、子供達に（できたら大人達にも）小さな足跡を残すことができたなら…こんな嬉しい事はありません。

一般的なコンサート経験しかない私にとって、すべてが挑戦ですが手を抜かず喜びをもって精進したいと思っています。

演奏可能プログラム

リスト：ラ・カンパネラ、愛の夢

モーツァルト：トルコ行進曲

シューマン＝リスト：献呈

シューマン：トロイメライ

ショパン：幻想即興曲、英雄ポロネーズ、仔犬のワルツ、別れの曲

ベートーヴェン：ピアノソナタ第30番、第31番

ラフマニノフ：コレルリの主題による変奏曲

シューマン：交響的練習曲

ショパン：ピアノソナタ第2番「葬送」

ピアノソナタ第3番

リスト：リゴレット（演奏会用パラフレーズ）

クライスラー＝ラフマニノフ：愛の悲しみ、愛の喜び など